



**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

|     |   |   |   |      |  |
|-----|---|---|---|------|--|
| 妥当性 | 1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか) | A | A 町民のニーズが大きい<br>B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない  | {理由} | ごみの減量化・資源化、リサイクルの推進、正しいごみの排出方法を各区の衛生理事を通して住民に周知徹底することにより、快適なまちづくりを推進する必要がある            |
|     | 2. 社会情勢上必要ですか                               | A | A 社会情勢からみて実施すべき事業である<br>B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である  | {理由} | 活動を通して、町内のごみ排出量を抑制すると同時にリサイクル化を推進し、循環型社会への移行や温暖化防止等、環境保全に向けた取組を今後も推進していかなければならない       |
|     | 3. この補助金は広く町民のためになっていますか                    | A | A 広く町民のためになっている<br>B 特定の者に限定して利益がある   | {理由} | 活動によって、収集ステーションをはじめ町内の環境衛生を適切に保ち、住みやすい環境づくりを推進している                                     |
|     | 4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか             | A | A 税金を投入して行う事業である<br>B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある  | {理由} | ごみや資源物の排出方法を住民に周知することにより、ごみの収集段階から最終処分までに生ずる過度の経費を縮小させ、住民の排出負担を抑制していく必要がある             |
| 有効性 | 5. 事業の効果が具体的に把握できていますか                      | B | A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる<br>B 具体的な成果を示すことは困難である   | {理由} | 定期的に各地区の衛生自治連合会の理事に対して、収集ステーションの適正排出の調査を行っている  |
|     | 6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか               | B | A 期待した以上の成果があった<br>B 期待したとおりの成果があった<br>C 期待したほどの成果が得られなかった<br>D 成果が少なく今後も向上する見込みがない                       | {理由} | 衛生自治連合会の活動により、年々収集ステーションへの不適切な排出等のトラブルは減少傾向にある。また、ごみの減量化やリサイクル化に対する住民の意識も向上してきていると思われる |
| 公平性 | 7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか                     | A | A すべての対象者に交付されている<br>B 一部の対象者に交付されている   | {理由} | 廃棄物の適切な排出等の住民への広報・周知活動や、収集ステーションの管理・運営の補助等全町民を対象に行っている                                 |
| その他 | 8. これまでに見直しの実績はありますか                        | A | A 補助金について見直しを行った<br>B 見直しを行ったことがない  | {理由} | 平成25年度に3万円減額   |
|     | 9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか             |   | 衛生自治連合会の活動の中で、廃棄物の適切な排出を推進することにより、町の廃棄物処理に係る経費を抑制することができる。あわせて住民の環境衛生に対する意識向上を図りながら、住みよい環境づくりを一層推進する事ができる |      |  |

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

**事業の方向性の具体化**

|   |               |                                     |    |                          |    |
|---|---------------|-------------------------------------|----|--------------------------|----|
| (誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)                                       | 26年度予算見積書への反映 | <input checked="" type="checkbox"/> | あり | <input type="checkbox"/> | なし |
| 衛生自治連合会の役員は必ず各地区に存在し、地域密着の組織である。環境美化、公衆衛生、ごみの減量化、リサイクル化等の必要性を、今後も住民に対して周知していく | [反映内容]        | 補助金額の減額                             |    |                          |    |

**(7) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)**

|   |  |
|---|--|
| B | A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。<br>B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。<br>C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。<br>D(1) 計画の実施には着手できなかった。 |
|   | <p>※具体的な実施内容をお書きください</p> <p>ごみの減量化、適正な排出のためには地区の衛生理事の協力が必要である。また、平成25年度に不法投棄防止ネットを1箇所設置した。このような活動をするなかでも今後も経費節減に努めていく。</p>   |

**(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

|  |   |
|--|---|
| (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)   | 上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック   |
| 町内全区に組織された団体であり、環境美化、公衆衛生、ごみの減量化、530運動、分別収集など、様々な環境衛生活動に協力していただき、行政を支えていただいている。前年同様の補助が必要である | <input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし<br><input type="checkbox"/> B. 貢献度 中<br><input type="checkbox"/> C. 貢献度 小 |

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

上記 a ~ c を選択